

## 各省庁にレクチャーを求め勉強

日本共産党の別府市議団は3名そろって堤栄三県議会議員らとともに上京し、10月21日22日、国会の衆議院第一議員会館で政府からレクチャーを受けました。赤嶺政賢衆院議員、仁比総平参院議員も各省庁との話し合いに参加しました。

### ゴミを減らすことが基本

問 別府市は、平成22年度からプラスチックなどの分別収集を実施することを決めましたが、その後、ごみ焼却場の建て替え計画のなかで発電のためにプラスチック類は焼却するとして、分別収集の実施を見送ることになりました。分別・資源化と発電の問題でどのような指導をしていますか？

環境省 3R（ごみを出さない、再利用する、資源化する）をすすめたうえに、焼却熱を発電に使うよう指導しています。



国会議事堂前で、左からえんど久子・平野文活・野田紀子各市議

2009. 10. 22.

## 広域議会のお知らせ

11月2日 午後2時～  
別府市議会本会議場にて  
別杵速見広域議会が開かれます

本会議はどなたでも傍聴できます。広寿苑やゴミ焼却場建て替え問題で質問します。ぜひ傍聴においで下さい。

### 建設計画見直しは差し支えない

問 高効率発電システムについて説明を。

環境省 高効率発電システムは発電量が増え、売電すれば収入も増えますが、一方、高額であり、修繕費用もかさむので、費用対効果は差し引きゼロです。したがって国の交付金を1/3から1/2に増やして誘導しています。

問 業者選定の段階で施設建設計画の見直しをすることについて、国の見解は。

環境省 地方が見直しをすることについては、国としては何ら差し支えない。このまますすむことの方が問題があるのでは。

この議会報告は、政務調査費で作成しています。みなさんのご意見ご要望などをお寄せ下さい。

日本共産党 別府市議団

げんきニュース

発行責任者 平野文活  
別府市石垣西8-2-31  
TEL0977-22-6576

No.402  
2009. 10. 28.

TEL・FAX 平野文活21-6749・野田紀子22-9253・えんど久子25-7630  
<http://www.ctb.ne.jp/~jcpbesig/>

# 特養老人ホーム なぜお年よりの負担が重くなる?

個室にしか補助がないなんて

10月22日、厚生労働省から介護保険の問題などで、説明を受けました。野田のり子市議は「特養ホームへの多床室（相部屋）へは建設補助金がなく、ユニット型個室にしか出されないが、低所得のお年よりは利用料負担が重い個室には入居できない。多床室へも補助金を出すべき」と、厚労省の見解を質しました。

## 三位一体の改革で改悪

厚生労働省は、「社会福祉施設整備費補助は、三位一体の改革で、平成18年（2006年）から廃止して、30人以上の特養ホームの補助金は県の一般財源から出すことになった。国は29人以下の地域の小規模特養ホーム（個室）の補助金を市町村交付金にする。高齢者は慣れた地域で暮らすのが幸せ」と答弁。お金がなければ入居できない特養ホーム。こんな三位一体改革は政権が変わった今こそ改善させましょう。

10月22日、別府市議会特別委員会で議員定数についての話し合いがありました。国会議員の日程の都合などでこの日、日本共産党議員団は、政府レクチャーを予定していたため、定数削減に反対の意見を特別委員会に文書で提出しました。

## 公立図書館へ補助金復活を

野田のり子市議は、「公立図書館に国からの補助金がないことで、図書館利用ができる市とできない市があるのは国民にとって不公平。社会教育に携わる文科省として、補助金復活の予定はないか」と尋ねました。

文部科学省は「公立図書館への補助金は昭和26年度（1951）

（平成9年度（1997）までありましたが、全国の教育長会などからも、社会教育への補助金の要求があります。現在廃止になっていますが、今後の補助金復活は困難です。社会教育の重要性は認識しているので何かしら対応できないか、考えていきたい」と答えました。



厚生労働省（手前）と話し合う、左から平野文活・えんど久子・野田紀子各別府市議、赤嶺政賢衆院議員、仁比そうへい参院議員、山下かい党青年学生部長

09. 10. 22 東京 衆議院第一議員会館